

かがやきクラブ都筑 第十五回俳句の集い

令和三年八月三十一日(金)

特選

11	ふるさとの 夜空を染める 遠花火	星 ながこ	東光会
34	三密を 避けてひっそり 遠花火	三澤 博	仲町台三丁目福寿会
44	大の字に 寝ころんで待つ 揚げ花火	市川 進一	見睦会
84	ひぐらしの 幽けきこゑや 囲碁を打つ	鈴木 誠	MGCRSシニアクラブ

入選

6	コロナ禍の 終息告ぐる 花火待つ	久保 睦夫	東光会
13	健康の願いを こめて花火うつ	伊東 吉郎	東光会
21	迫り来る 尺玉花火 幼き日	和田 待子	GOGOKラブ
22	満天の 光の海に 花火萌え	矢代 敏幸	GOGOKラブ
25	遠花火 子供心に 届く音	高橋 幸治	南山田末広会
26	胸を打つ 闇に大輪 大花火	長澤 節子	牛久保東年輪会
30	ドンと鳴る ハマの花火は 階の下	松下 昭四郎	MGCRSシニアクラブ
31	花火終へ もどつて来たる 波の音	臼杵 実代	MGCRSシニアクラブ
42	村里の 丈越す草や 庭花火	小田倉 五男	見睦会
49	漆国の 空に雅びや 大花火	服部 倫子	つづきが丘クラブ
50	夕暮れの 都会に光る 遠花火	桑原 正盈	つづきが丘クラブ
62	ふる里は 田植え終しか 粽食む	深瀬 ノブ子	東光会
69	あせをかき 白衣をぬいだ 人がいる	横尾 智	東光会
72	炎風や 木陰見つけて ひとやすみ	牟田 靖子	GOGOKラブ
75	紫陽花の 雫のひかる 朝の雨	佐藤 勝子	GOGOKラブ
76	番傘の 屋号の二字や 夏の雨	大矢 三樹夫	GOGOKラブ
79	念仏の 鉦の音色や 送り火と	安藤 博	牛久保東年輪会
80	土堤刈りや いよいよ出番の 麦稈帽	吉川 トメ	茅ヶ崎長寿会
85	夕焼に 今日一日を 感謝する	近藤 恒	大熊おたのしみ会
87	盆踊り 都筑音頭で 輪にはいり	守谷 弘	東方第一和楽会
89	手花火や 光の中で はしゃぐ子ら	君塚 正子	高砂会
90	紅白を 咲かせて寺の さるすべり	菅沼 一夫	佐江戸第二親和会
93	始めての 旅へ行く子の 夏帽子	北沼 利男	松寿会
98	夕顔の 襲を残して 開きけり	手塚 光子	川和団地シニアクラブ
104	向日葵の 天つく花の 美しさ	山田 陽子	つづきが丘クラブ